

新年 あけましておめでとうございます。旧年中賜りましたご愛顧に心より厚く御礼申し上げます。尚本年も一層のお引立を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

ここ数年同じなのだが今年がどんな年になるのかということよりこれからどうなっていくのだろうと少し長い先行きを想うようになった。そのわけがどこにあるのか今一つはつきりしないが、日本が発展から停滞の時代に入り、混沌として先が見えない読めない時代に入っているせいかも知れない。財政破綻で国債発行残高が増加する一方で赤字負担を増やす新幹線着工を強引に進めようとするなどはもつての他で、だますのが議員の仕事であれば夢を与えているだけだとタカをくくっていたら本気でやりだすと見えてきた。これは放つとくわけにいかない。傍観しているではすまされない。他にもある。神戸空港なんているんやさっぱり判らん。海上で30分でいける関西空港という国際空港があり、計画でもう2本滑走路が予定されその内1本は着工へむけての作業予算が今年もついている。1本しかない滑走路では万一の代替空港の役割も考えられ有用だが、2007年に2本になる方向が確定しておりその必要性はまったくない。屋上屋を重ねるだけのことで税金の無駄づかいになる。神戸空港は地元の人には欲しいものであっても、国民が負担する価値はないと言える。要するに経済が発展し税収が自然に増えていく場合は、インフラ整備にどんどん金を使っても財政の破綻を見ないですむが、経済成長がとまり税収が減ってきたら支出を絞っていかねばならない。返済できる借金の限度を越えた財政状態になったら、過去にたてた計画は一旦ご破算にして新たに練り直すべきである。

われわれ私企業の場合は親方日の丸がないから、財政破綻の結果は冷酷であり惨めなものである。沢山の関係者にご迷惑をかけないようにと思えば慎重になり無理はできない。状況が変化したらその変化にすみやかに対処する方策をとらねばならない。しかし国や自治体は親方日の丸で変化の対応に極めて鈍感である。日本経済が順境であった時樹てた計画をいまだに実行しようとしていることが余りにも多い。規制緩和や行政改革や財政再建といっても選挙の時だけで、すんだら族議員のエゴ丸出して財政危機の認識すら感じられない。自分を支える選挙地盤の利害を声高に主張するだけで国家百年の大計など出てこない。こんな有様で日本の将来は一体どうなるのかと心配するのは私だけでなく多くの人が思っていることだけに、一日も早く国民に見えてくる状態にすることが政府の急務だと痛感する。

新年早々、ぼやきを言ってしまったが、今年は笑顔をふりまくようやってみようと思っている。悲しい時や苦しい時笑顔を保つことは難しいが、できるだけそうしようと思う。脳内革命ではないが笑顔は体内にいいホルモンが出るよう働くそうで、笑顔はまわりに人にもいい波動をもたらす。私にはとても難しいことだけど努力してみようと思う。笑い乍らぼやくならまあ大目にみてもらえますわなあ。

さて今年一年牛の歩みでゆっくりでもいい年の瀬を迎えて振りかえった時、少しは進んだなあと言えるようお互い頑張りましょう。

最後に皆様のご健康とご多忙を祈念し、新年のご挨拶といたします。

☆ 1 月の 魁 基 準 建 値 は 3 1 0 円 / kg です

12月の電気銅建値は2～4日330円5～9日320円10～14日310円16～27日300円で平均銅価は310円でした。新年の電気銅建値は昨年暮れより10円上り310円で始まりました。従って1月の魁基準建値は $(310 + 310) \div 2 = 310$ 円です。魁価格帯は前月同様300円超～350円以下の価格帯で変わらずです。

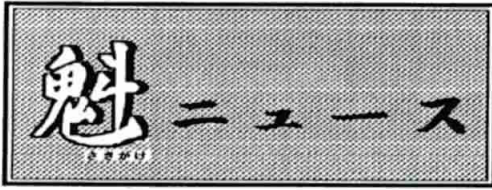
魁ニュース

暦の上では立春となり、春も間近となったがまだまだ寒い日が多く、冷たい外気に肩を縮めて歩いている人が多い。年のせいもあって背中が少し丸くなってきて、家族からよく注意を受けるので、意識して胸を張り背筋を伸ばすよう心懸けているつもりだが臥もそんなふうになっているのだろう。このところ雨の降る日も多くなってインフルエンザの蔓延も下火になってきているようで何より、百花の魁梅の蕾もふくらみ、この寒さももう暫らくの辛棒だろう。早く大好きな春がきてほしいものである。

4月1日から消費税が現行の3%から5%に改定実施される。コンピューターのソフト改定など厄介な作業が避けられない。しかし一番気になるのはその前後の商品の動きがどうなるのだろうかということである。一般的には仮受消費税と仮払消費税の差額は全額納税する義務があるから改定前後に特殊な思惑を働かす余地はまったくないのだが、一般消費者や課税対象に入らないところ又簡易課税ですむところは改訂後の購入予定を前倒し、改定前に実行する方が得になるのでやはり通常とは違った動きが出てくると考えられる。昨年後半より製造産業の業況が好調なのはそういった動きに備えて製品在庫を積み増すため生産稼働を高めている企業の多いことを反映しているもので、代表的なものに自動車あげられる。従って前回消費税が初めて施行された時ほどの現象は考えられないが、平常よりは20%位売り上げの伸びが期待されるのではなかろうか。勿論4月以降にその反動が出てくるので通しでは同じことだが、品切れで商機を逸することだけは避けたいものである。2%消費税の支払額が少なく済んでも4月1日以降それ以上に値下がりしたら得どころか損してしまうのだから、そのへんの見極めも大切である。しかし行列を見たら並んでしまう国民性、付和雷同の動きも出てこよう。

☆ 2月の魁基準建値は336円/kgです

1月の電気銅建値は6～8日310円9～13日320円14～20日330円21～23日340円24～31日350円で平均銅価は333円15銭でした。2月の電気銅建値は340円でスタートしました。従って2月の魁基準建値は $(333.15 + 340) \div 2 = 336$ 円57銭となり円未満切捨て336円となります。従って価格帯は300円超～350円以下の欄で前月同様変わりません。1月に50円も値上がりした原因は商品ファンダ筋の投機的動きと為替の円安によるものです。



今日はひな祭り、5日は啓蟄、奈良東大寺二月堂では修二会（お水取り）が行なわれ、春本番に向けてすべてのものが動きだしたと感ずるこの頃です。新しい年度に向けての準備や整理などで、官庁や会社また家庭でも何かと心急かれる思いの多い時期であります。

今日の新聞で目新しい文字が飛び込んできました。クローン猿です。生命工学ではつとに知られていることなのでしょうが、門外漢の私にはクローンというのは初めて知る言葉で、一体なんのことか多いに興味をそそられましたので調べてみました。

無性的に増殖した、遺伝的に全く均一な生物の集団をクローン（clone）といい、現在では個体だけでなく、そのような細胞や遺伝子の集団もクローンという。また特定のクローンを分離して取り出すことをクローニングという。つまりクローン作りすることであるが、クローン作りの技術が進んで有用な物質や細胞などを大量かつ純粋に生産する手段として、さまざまな分野（園芸、農業、牧畜e.t,c.）で広く大量に応用されているとのことでした。

今日の新聞に出ていたのは米国でクローン猿の育生に成功したという記事でした。クローン羊、クローン牛の育生はすでに成功しているが、より人間に近い猿のクローン作りの成功はやはりニュースなのだろう。人工的に同じ遺伝子を持つ人間を作る方法の開発される必要性など全くないと思うが、そういうことに一歩近づいたということにニュースとして価値があるのでしょうか。しかしこれはちょっと怖い話だと思う。

生命工学つまりバイオテクノロジーの進歩が有用な生物のコピーを大量に作る技術の進歩をもたらしていることは薄々気付いてはいたが、クローンという言葉を知って調べてみて少々考えさせられた。まず有用とはつまり人間にとって利益になることで、この地球の人類も含めた生態系全体のバランスからみてはたして有用かとなると、大いに疑問のわくところで、むしろ自然の秩序、自然の摂理に逆らう破壊行為の一種とも言えないだろうか。私達人間は万物の霊長として、あまりにも尊大でわがままな行動をしていることに気付かないではなかろうか。つぎに無性的に人間が作られることがどうなのかということである。優れた遺伝子を求めて恋も愛もないまま生命が生まれるようになったらどうなるのか、私には想像も及ばぬことである。有用は無用で無用は有用である。まるで禅問答のようなことを思ったことである。

☆「はやぶき」に耐摩GLカラー新登場

「はやぶきは」カラーステンレスの豊富な色揃えや、施行の簡便性及び葺き上がりの美しいことなどから発売開始以来ご愛用下さるユーザーさんが増え、色んなご要望もいただいております。そのひとつとして今回下記の通り耐摩GLカラー3色を在庫販売するよういたしました。価格については新価格表を作成中で4月にはお手許へお届けする予定ですが、それまでは当社営業担当者にお問合わせ下さいますようお願い申し上げます。

色	板厚m/m	型 式		
耐摩GL-527 (グリーン)	0.35	130型	175型	250型
耐摩GL-539 (こげ茶色)	0.35	130型	175型	250型
耐摩GL-540 (ブラック)	0.35	130型	175型	250型

☆「はやぶき」折下げ一文字を

4月より発売開始

魁(さきがけ)にある折下げ一文字が「はやぶき」にはありませんでしたが、4月から発売開始することになりました。右山、センター、左山いずれも即納態勢をとりますので、ご下命のほどお願い申し上げます。

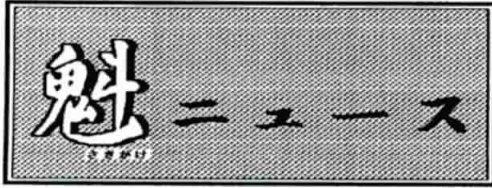
☆「はやぶき」のカタログ、施行説明書

4月配布予定

「はやぶき」のカタログと施行説明書が今月末迄に刷り上がる運びになりました。長らくご迷惑をおかけ致しましたが、出来上がり次第皆様のお手許へお届け申し上げますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

☆3月の魁基準建値は342円/kgです

2月の電気銅建値は3~5日340円6~10日350円12~19日340円20~28日350円で推移し平均銅価は345円26銭でした。3月の電気銅建値は340円でスタートしました。従って3月の魁基準建値は $(345.26 + 340) \div 2 = 342$ 円63銭となり円未満切捨て342円となります。価格帯は前月同様300円超~350円以下の欄で前月同様変わりません。



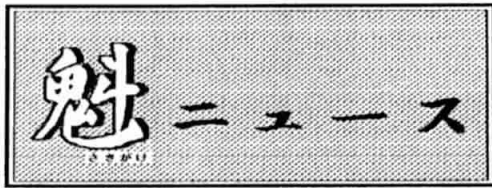
4月1日から消費税が3%から5%に改定されるにともなう動きが3月中旬頃より見られました。業種により差異はありますが3月に突出した分がこれからの2~3カ月間で調整されていくと考えられます。気になるのは7月以降の景況がどうなっていくのかということです。円安により新造船の受注残が増加しているように、輸出競争力の回復による輸出の増加が見込まれ、低金利の追い風をうけて住宅建築が微減に留まるなど楽観材料もありますが、公共投資の大幅減、消費税UPによる個人消費の手控えなどいままでも景気回復の原動力になっていたものがマイナスになるため、本年後半は相当厳しいことになるように思えます。特に公共投資の大幅減少は建築業界にとって極めて深刻な問題で、サバイバルゲームの真っ只中に突入していき、倒産業者が続出する怖れさえあります。我々が直撃を受け、致命的打撃を蒙ることも起こり得ると言えましょう。目下金融業界がバブルの清算に大奮ですが、建築業界はこれ迄高水準の公共投資と低金利に恵まれ、本格的な清算がなされずにきました。しかしよいよ建築業界もバブルの後始末に取り組みざるを得なくなってきました。建築は自動車と並んで関連業界が広い範囲に及ぶだけに今年から2~3年が正念場になると思います。

☆「はやぶき」のセールを行ないます。

昨年5月に発売した「はやぶき」は掴み箸や拍子木を必要とせず施工が簡便で早くしかも葺き上がりが大変美しいので、ご使用いただいた工事店の皆様からご好評を賜わり、リピートオーダーをいただいております。カラーステンレス・銅板・緑青銅板に加えて耐摩GLカラー・ブラック・ブラウン・濃緑の三色をラインアップし、商品の充実にも努めております。発売一周年を迎え、商品の特質をより多くの方々に実感してもらうようセールを企画しました。5月1日から8月10日まで行ないます。ポスターやチラシ、趣意書などを用意し4月20日前後に皆様のお手許へお願いに伺いますので、何卒絶大なるご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

☆4月の魁基準建値は340円/kgです。

3月の電気銅建値は1~31日まで340円で推移しました。4月の電気銅建値は340円でスタートしました。従って4月の魁基準建値は340円となります。価格帯は300円超~350円以下の欄で前月同様変わりません。



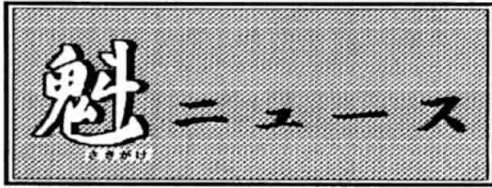
若葉が光り、いろとりどりの花が咲き、野山が輝く季節がやってきた。自然の恵みを強く感ずるのもこの季節である。知人が山菜摘みでとって来られた蕨を頂戴し、茹でて生姜醤油でいただいたが、新鮮で柔らかい蕨はひととき美味しく味わわせていただいた。食べ物から季節を感じとる機会の多かった私達の祖先の生活とくらべ、今の私達の生活は急速に自然から遠ざかっている。工業化は地球の許容人口を拡大したが、その分自然の疲弊は全地球的に拡大しているようである。エネルギー問題が最たるもので、緑豊かであった南アフリカ中央部が砂漠化したのは焼畑農業や樹木の伐採が元凶であるし、世界の各地で濫伐のため裸になり不毛地帯と化しているのは枚挙にいとまがない。そして今日、既成のエネルギー源では不足し原子力エネルギーに依存する割合が高くなり、発電所の事故や使用済み燃料の処理問題等、未解決の不安材料を抱え込んだまま進んでいる。自然の浄化力や回復力が限度を超えた時、地球のありとあらゆる生物は影響を受け適応能力の低いものから絶滅していくのだろう。人類は比較的適応能力の高い方と言えるだろうが、人類絶滅の危機が来ないとは言い切れない。人類が絶滅の危機にひんしたとき、人類に代わってどんな生物が地球に君臨しているだろうか。アブラムシ君。君は強いなあ。

☆「はやぶき」キャンペーンセール開始。

魁ニュース196号でもご案内申しあげましたように、5月1日から8月10日まで「はやぶき」のキャンペーンセールを行ないます。価格表・カタログ等もお手許に届いていることと存じますが、この期間中に工事店様にご活用下さる機会をご提供下さるようよろしくお願い申し上げます。商品の特長は使っていただいてこそ、わかっただけのもの、まず試していただきたいのです。特にカラスステンレス等硬い材料では抜群の施行性と美しい葺き上がりを実感していただけることと存じます。

☆5月の魁基準建値は346円/kgです。

4月の電気銅建値は1～22日まで340円23～30日350円で推移し平均銅価は342円38銭でした。5月の電気銅建値は350円でスタートしましたので5月の魁基準建値は $(342.38 + 350) \div 2 = 346$ 円19銭円未満切り捨て346円となります。従って魁価格帯は300円超～350円以下の価格帯となり、前月同様変わりません。



梅雨入り宣言も間近と思われる頃になった。緑もいちだんと色濃くなり、植えられたばかりの稲もしっかり根付き伸び始めている。鳥の囀りも心なしかこの頃はかまびすしく感じられる。自然の営みは確か大きくは狂わないがそれでも年毎に多少の変化はあるもので、今年の夏は冷夏が予測されているが果たしてどうなのだろう。

季節商品などは夏は夏らしく暑く冬は冬らしく寒くあって欲しいのだが、これが結構気紛れで予測通りにいくとは限らないから大変である。売れ残ったら1年待たねばならない。その間の保管費用（倉庫料・金利 e.t.c）や、陳腐化による損失の発生が避けられずそんなことになるのを避けるため色んな工夫や努力を必要とする。その点非鉄金属や鉄鋼2次製品は季節の影響（台風と波板）を受ける商品が少ない方であるが、その分取扱口銭が低い。それでいて新商品などの影響を受けて陳腐化し、眠ったまま動かなくなった商品が結構あるものである。商品管理が行き届いている会社はその辺をきっちり把握しているし、そうでない会社ほど冬眠商品を数多く抱えているのではないだろうか。

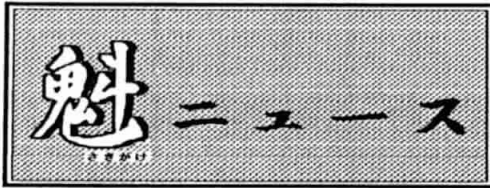
商品の保管場所即ち倉庫の狭小に困っておられる会社は非常に多い。しかし或る工場では新工場の建設の話が出た時に、使っていない機械や売れ残っている製品や仕掛品や素材等不用品を建屋から全部外へ放り出したら、スペースが1/2空いて工場新設の必要が全くなくなったという話を聞いた。我々もいつかいるだろういつか使うだろうと行って沢山の不用品を抱えこんでいる。一度、外へ放りだして見ることもリストラのひとつとして是非やってみる必要があると思う。

☆はやぶきセール期間中の 同行セールをやりましょう。

6月の梅雨入りシーズンは雨の日が多く工事店へ訪問するには絶好のシーズンであります。私供の営業マンは「はやぶきキャンペーンセール」期間の同行セールを強化し積極的をお願いしていることと存じますが代理店の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

☆5月の魁基準建値は348円/kgです。

5月の電気銅建値は1～14日350円15～22日340円23～22日350円で平均銅価は346円80銭でした。6月の電気銅建値は350円でスタートしました。従って6月の魁基準建値は $(346.80 + 350) \div 2 = 348$ 円40銭円未満切り捨て348円となります。魁価格帯は300円超～350円以下の価格帯となり、前月同様変わりません。



同じ日本でも沖縄と北海道では自然環境が大きく異なる。本土は梅雨の真っ只中であるが、沖縄は梅雨も空け盛夏に入っている。又北海道は梅雨という季節がなく初夏のさわやかな好季節である。今年はペルー沖のエルニーニョ現象の影響で梅雨は長く猛暑にはならないと長期気象予測が出ているが、観測史上初めてといわれるように6月に2つの台風が日本へ上陸するという珍しいことも発生しているので、夏の気象が心配される。93年のような冷夏になると米作などに大きな被害が齎られるので、そんなことにはならぬようお願いしたいものである。

建設業界がバブルの後遺症と公共投資抑制の影響で、経営危機に直面している所が多いことはご高承の通りである。噂にのぼっているゼネコンの頭文字をとってSAMITTなどといわれているらしいが、金融機関も自分の足許に火がついてきているのでとことん面倒を見ることも出来ないまま、下請など広範囲に及ぶ最悪の事態が発生する可能性が高まってきている。建設業は赤字経営になると官公庁の入札資格に差し障るので、決算操作で実質赤字を隠蔽して黒字決算の粉飾をしているところが多いと聞く。決算書を信用しては駄目なのだ。我々の業界は建設業界と深いかわり合いがあり、建設業界が元気になって貰わないと困る業界であり、彼等が風邪をひけば我々も風邪をひいてしまうのである。

建設会社から無理な価格を押しつけられ、赤字で仕事をしている工事業者が増えてきている。売り上げが伸び悩んだり減ってくると、危険を承知でつい無理をしがちになるが、今は「虎穴に入らずんば虎児を得ず」でなく「君子危うきに近寄らず」の方針で行くべき時だと言えよう。

☆ 7月の魁基準建値は343円/kgです。

6月の電気銅建値は1～9日350円10～12日340円13～24日350円25～30日340円で平均銅価は346円66銭でした。7月の電気銅建値は340円でスタートしました。従って7月の魁基準建値は $(346.66 + 340) \div 2 = 343$ 円33銭円未満切り捨て343円となります。価格帯は引き続き300円超～350円以下で変わりません。

☆ 「はやぶき」キャンペーンセール

好評裡に3ヶ月目に入る。

5月1日よりキャンペーンセールを開始し、皆様の絶大なるご協力のもと、順調に進んでおります。キャンペーンの目的は使っていただいてご意見をいただく所にあります。沢山のの方々から少々値は高いが（魁と比べて）施行性を考えたらこれからは「はやぶき」だなど仰言っていただいており、我々としては心強く口コミで愛用して下さる方がどんどん増えていってくれるものと確信しております。キャンペーンセール期間もあと40日弱になりましたが、この機会に少しでも多くの方にご試用をお勧め下さいますようよろしくお願い申し上げます。



☆ 魁ニュース 200号を迎えて。

魁ニュースも昭和56年1月に第1号を皆様にお届けしてから、今回で200号を数えることになりました。16年8ヶ月毎月1回とはいえ、最近ではネタがなくで頭を抱えてしまうことが多くはたしていつまで続けられるやら、自信ありません。もうこのへんが終わりにするよい区切りではないかと思ったりしましたが、あまりむづかしく考えず私から皆様へ月1回のお手紙を出さしてもらおうつもりで出来る迄続けさせていただけようと思っ厚顔しくも開き直りました。魁同様これからも飽きずにお付き合いくださいませうお願い申し上げます。

発売当初からの主な動きをみると

- | | | |
|-------------|---------------------------------|-------|
| (1) 昭和58年4月 | 「ステン一文字魁」を発売 | |
| (2) 昭和59年5月 | 隅棟ハマグリ発売 | |
| (3) 昭和60年5月 | 人工緑青銅板・条「緑彩」を販売 | |
| (4) 昭和62年9月 | 「本ハゼ一文字」発売 | |
| (5) 平成 3年5月 | 鉛被覆銅板「タフ・カバー」輸入販売開始 | |
| (6) 平成 4年1月 | 全商品にチョコ吊り子をつけ価格改訂（本体は実質値下げ）を行なう | |
| (7) 平成4年6月 | 「段葺サキガケ12」を発売 | |
| (8) 平成8年3月 | 「はやぶき」発売 | などです。 |

潮流を読み取りさきがけて商品開発をしたいという想いとは裏腹に、皆様よりあとがけだとお叱りをいただきそうな状態ではないかと忸怩たる思いの昨今ですが、私共にとって開発は永遠の課題であり、飽くことなくチャレンジして行かねばならぬと存じております。今後共末永くご声援を賜われますようお願い申し上げます。

☆銅条はなぜ売れなくなっただの？

平成5年頃から銅板・条の売れ行きが落ち込みはじめ、マーケットが大きな変化を見せました。どうして銅板・条の売れ行きが落ちたのか、色んな要因が考えられます。ハウスメーカーのシェアアップ、酸性雨等の影響で銅板に穴があくとの風評等云々されていますが、私共は伸銅メーカーのマーケティング活動の絶対的不足が最大の要因であると考えております。マーケティングとは消費者が求めている商品とかサービスを調査し、供給する商品や販売活動の方法を決定することですが、伸銅メーカーはこの分野の活動を全く放棄していたといっても過言ではありません。銅板は価格が高いというイメージを他の素材と比較するデータを提供して払拭するPR活動、酸性雨に対しても日本瓦の下に葺く場合はこういう対策をして下さいとか個々のケースに対応する適切な施工方法のPR等、商品について正しい認識をしてもらう基本的なことすら怠っていました。他の金属素材メーカーのマーケティング活動と比較すれば、取って替わられても致し方がないと思います。しかし銅の優れた耐蝕性を実証する例は枚挙にいとまがありません。例えば昭和の初めに出来た大阪城の大改修が昨年から本年にかけて行なわれましたが、屋根は銅の本瓦葺きで0.5mm厚で葺かれており、それをはずし鳩の糞など汚れの着いている部分を洗い直して80%がまた使われました。65年経過した銅屋根がこれからさき何十年も大丈夫だという確信があればこそその再使用であり、銅屋根材ならこそその優れた耐蝕性を示す一例であります。

欧米では建築用に使われる板厚は0.6mm以上であり、日本で使用されているような0.3とか0.35の素材の倍近い厚みのものを使っています。近年日本でも使用される板厚が0.35から0.4mmへと少々厚くなってきていますが、屋根は0.4mm、とい関係は0.5mm以上のものを使っただけならば信頼に応える耐久性を存分に発揮するでしょう。そういった方向へ進むためにもメーカーも0.3mmは生産しないと協定PRするぐらいの決断を下し実行すべきだと思います。銅板・条の需要の落ち込みについて又伸銅メーカーに対する要望等について皆様から忌憚のないご意見をお寄せ下さいませれば幸甚です。お待ちしております。

☆「はやぶきキャンペーンセール終了間近か。

5月1日より開始したキャンペーンセールは8月8日で終了いたします。ご協力ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

☆8月の魁基準建値は332円/kgです。

7月の電気銅建値は1～8日340円9～15日330円16～22日340円23～31日330円で推移し、平均銅価は334円55銭でした。8月の電気銅建値は330円でスタートしましたので魁基準建値は $(334円55銭 + 330) \div 2 = 332円27銭$ となり円未満切り捨て332円となります。価格帯は300円超～350円以下で変わりません。



「朝夕が どかによろしき 残暑かな」 (阿波野 青畝)

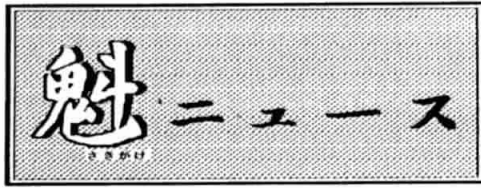
朝・夕は秋の気配が濃くなってきましたが、日中はまだまだ残暑が厳しくエルニーニョ現象の影響で冷夏と予測された今夏も終わってみればまず平年並だったと言えましょう。プリンセス ダイアナの交通事故死はショッキングなニュースでした。マスコミの執拗な追いまわしを振り切るために死因の引き金になったようです。日本でも有名人の下ネタやスキャンダルをネタにしている週刊誌等が一杯あり、芸能人の離婚会見に何十人ものマスコミ関係者が押しかけたり、時には人権を無視した報道をしたり、テレビの低俗番組の洪水などマスコミのあり方には常々疑問を感じていたものにとって残念だが起こるべくして起きたことという思いがいたします。上記の事故現場の生々しい写真を売り込まれたマスコミが良識をもって購入を拒否したのは当然で、マスコミはその及ぼす影響力に対し真摯で謙虚な姿勢と格調高い倫理感が要求されていることを忘れ、売り上げを上げるためのネタ探しやネタ作りに血道をあげているのが現実の姿です。プリンセス ダイアナの事件を機に、マスコミの自主的な粛正の動きが進んで欲しいものです。しつこいマスコミから解放されたプリンセス ダイアナの御冥福と、残された二人の遺児の御幸せを祈るや切であります。

日本だけが蚊帳の外といった感じで上昇を続けていた欧米アジア諸国の株価にも変化が現われてきました。上がりすぎたら下がるのが必然とは言え、景気に先行する株価が一斉に下がりだしたことは注目に値します。長い好況で設備投資が進み供給能力が増え需給が緩み、価格競争が激しくなり企業収益が悪化する景気循環が世界同一進行で始まったと言えます。この影響は既に日本経済にも表れてきており、好調であった輸出産業にも影が出始め、内需不振と相俟ってこれから1～2年はかなり厳しい展開になるものと考えられます。

夏ばてが出てくる季節の変り目、皆様のご自愛を祈ります。

☆ 9月の魁基準建値は 3 1 4 円 / kg です。

8月の電気銅建値は1～10日330円 11～17日320円 18～31日310円で推移し、平均銅価は318円9銭でした。9月の電気銅建値は310円でスタートしましたので魁基準建値は $(318.09 + 310) \div 2 = 314$ 円4銭となり円未満切り捨て314円となります。価格帯は300円超～350円以下で変わりません。



朝夕がめっきり涼しくなり、お風呂でしっかり身体を暖めないと寝付きが悪くなるほど肌寒い夜もあるこのごろです。虫の音も心なしか細くなりいつのまに花をつけたやら金木犀の香が漂ってくると、思わず空を見上げ月を探したりし乍ら家路を辿ります。食欲の秋、収穫の秋、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋と秋を形容する辞句が沢山ありますが、貴方にとって秋はどんな秋ですか。私達にとっては商売が暇でそちらの方が心配で優雅に秋を愉しむ心のゆとりがないのが本音ですが、ストレス解消のためにも仕事を忘れしばし別世界に没頭したいものです。

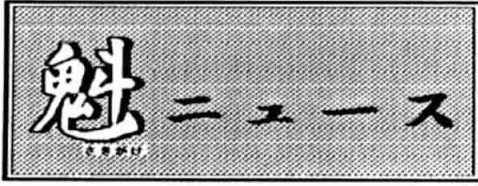
地元大阪では今月の25日から30日までなみはや国体（国民体育大会）が開催されます。この時期、大阪はスポーツ一色に染まり、宿泊設備も一杯になると予想され大阪への出張は避けられた方が賢明かと思えます。大阪は2008年のオリンピックを地元で開催したいと名乗りを上げました。2002年のI.O.C総会で開催地が決定されますがこれからそれまで長きに渡って誘致運動が続けられていくのでしょうか、南ア連邦のケープタウンや北京等、強力なライバルがあってはたして大阪オリンピックが実現するやら予断を許さず、むしろ極めて厳しいのではないかと考えられます。運動費用だけでも相当な負担になりますから、これから喧々譁々の批判も出てくると考えられます。大阪の知名度を高め、出来る限り世界の人々に大阪を好きになってもらうためにも、又景気を良くする起爆剤になって欲しいと願う上からも、その実現に心から期待しています。

☆ 「はやぶき」 キャンペーンセール 抽選会 10月11日開催

本年5月1日から8月8日まで「はやぶき」のキャンペーンセールを行ないました際は、皆様より多大なご協力を仰ぎまことにありがとうございました。その後応募用紙も続々と当社に寄せられていますが、ほぼその戻りも最終近くなりましたので10月11日当社本社にて抽選会を開催し賞品の当選者を決定する予定です。お取引先のユーザー様でまだ投函しておられない向きがありましたら、大至急投函するよう呼びかけて下さいますようお願い申し上げます。

☆ 10月の魁基準建値は301円/kgです。

9月の電気銅建値は1～9日310円10～30日300円で推移し、平均銅価は303円50銭でした。10月の電気銅建値は300円でスタートしましたので10月の魁基準建値は $(303.50 + 300) \div 2 = 301$ 円75銭となり円未満切り捨て301円となります。価格帯は300円超～350円以下の欄で前月同様変わりません。



3日、三洋証券が会社更生法の申請をした報道がなされ、やはり来るべきものが来たという思いで聞いた。今、世界同時進行の形で株価下落が起こってきており、特に日本の場合は未だバブル後遺症が癒えない中で、株価の下落は深刻な影響を経済界に与え、特に金融業界にとっては想像を絶するものと考えられる。僅かに景気面でプラスに寄与していた輸出産業も、東南アジアの金融不安にともなう成長経済の頓挫で頭打ちは避けられず、日本経済の前途は益々多難で混迷の度を増している。減税や行革や規制緩和など景気対策を望む声が高くなってきているが、今日の日本経済は重症であり、立ち直せる特效薬をそれらに期待することは無理なのではなかろうか。本当に必要なのは時間であり、いたずらに策を講じても決め手とはなり得ず2乃至3年は辛抱一筋で行かねばならないのではなかろうか。官民共に低成長経済、グローバル経済に対応する改革を地道に進めていけばやがて曙光の見える日が来ると信じて努力を重ねていくのが肝要である。

それにつけても、我々個人としては自己の健康管理が何より大切なことになります。何事も健康な体を持っていないことには出来ません。10月9日付けの新聞に米ガン研究協会が、がんにならないための国際的なガイドライン「食生活14ヶ条」を発表したと報じていました。

食生活14ヶ条

- 1 植物性食品を中心に多種類を食べる。
- 2 適正な体重を保つ。
- 3 適度な運動をする。
- 4 野菜や果物をたくさん食べる。
- 5 豆類など植物性蛋白質を多く含む食品を取る。
- 6 酒類は控え目にする。
- 7 肉類は少なめにする。
- 8 脂肪や油脂分は出来るだけ避ける。
- 9 塩分は控えめにする。
- 10 新鮮な食品を食べる。
- 11 すぐ食べない食品は冷凍冷蔵保存する。
- 12 加工品や添加物は避ける。
- 13 肉や魚は調理で焦がさない。
- 14 ダイエット食品を多用しない。

植物性食品を中心にし、塩分は1日6g以下に押さえ、適切な運動をすることが挙げられています。毎年世界で約1000万人ががんになっているが、食生活を改善すれば、この内300万人～400万人はがんにならずにすむと指摘しています。

14カ条で最も強調しているのは、野菜・果物・穀物など植物性食品を中心に食べること。これらの中に含まれる成分は、環境中の発癌物質の働きを押さえる効果もある。野菜や果物は毎日400～800g、摂取カロリーの7%以上になるようにする。穀物や豆類などでんぷんや蛋白質を含む植物性食品はなるべく加工していないものを、1日600～800g取る。脂っこいもの、特に動物性は避ける。アルコール類は進めないが、飲むとすれば、男性はビールなら1日にコップ2杯、女性は1杯まで。赤身肉は1日80g迄で、出来るだけ魚や鶏肉を食べるようにする。塩分摂取は1日6g以下。摂取した食物は体を動かすことで消費し、適正な体重を保つことが大切。運動だけで危険性が低下するがんもあり、成人は標準体重を5kg以上超えないよう勧めている。体をあまり動かさない仕事に就いている人は、毎日1時間以上の早歩きか、少なくとも1週間に1時間の運動をした方がよい。このような食生活と、今実際に行なっている食生活とのズレが多い人ほどがんになる確立が高いと警告しているのだが、現実には私達の食生活は理想的（例えば雲水の精進料理など）食生活とはかなり程遠くなっていると言わざるを得ない。まないたや包丁がなくても生活できる食生活にどっぷり浸ってしまっている人は、特に心すべきことである。

今年群馬県の全板大会に行った折り、江戸中期の観相家「水野南北」開運の極意の小冊子をいただいた。彼は永年人相を占ってきたが、人相のみで運・不運は判断できず、むしろどんな食生活をしているかが大事であり、人の運・不運・寿命はみな食物、飲物をつつしむかつつしまないかによって決まると説いた。詳細は省くが小食を徹底し、大食を敵とする食生活をすれば貧をまぬがれ運が開けると言っている。美食・飽食1億総グルメ化し、どのチャンネルをひねっても料理番組が氾濫している日本を見たら、水野南北は日本人はどんどん貧乏に、そして短命になっていくと断定するに違いない。

☆キャンペーンセール景品当選発表

10月11日当社本社会議室において、応募葉書の抽選会を開催し、下記の通り当選者が決定いたしました。おめでとうございます。

- A賞 5名 井上板金工業KK（兵庫県）・(有)カネセイ板金（愛知県）
高木板金店（長崎県）・米倉板金店（愛媛県）・綿半鋼機KK（長野県）
- B賞 10名 (有)岩本板金工業所（岡山県）・(有)オガワ板建（長野県）
小柴板金（千葉県）・沢田板金（岐阜県）・谷板金（大阪府）
平沢板金（石川県）・洞板金工作所（和歌山県）
(有)村上建築板金（愛媛県）・山田板金（千葉県）・渡辺板金（岐阜県）

C賞 20名 池鋳工所（岡山県）・加子母板金（愛知県）・(有)川上板金工業所（岡山県）
 北川板金（大阪府）・(有)コウノ建装（広島県）・(有)合田板金（香川県）
 (有)コサカ板金工作所（兵庫県）・小西板金（三重県）
 (有)成信工業（長野県）・(有)白方板金工業所（愛媛県）
 調子板金（愛知県）・椿板金（愛媛県）・富永板金(有)（徳島県）
 速水兄弟商会（岐阜県）・(有)古本板金工業所（広島県）
 松浦板金（愛媛県）・(有)マツモト建装（愛媛県）
 (有)ミズウチ建築板金（岡山県）・松尾和美（愛知県）・牧野明美（愛知県）



☆ 11月の魁基準建値は294円/kgです。

11月の電気銅建値は1～27日300円28～31日290円で推移し、平均銅価は298円18銭でした。11月の電気銅建値は290円でスタートしましたので11月の魁基準建値は $(290円 + 298.18) \div 2 = 294円09銭$ となり円未満切り捨て294円となります。従って価格帯は250円超～300円以下の欄となり、1年振りに1ランク下がりました。



いよいよ本年も残り1ヶ月弱となった。三洋証券、北拓、山一と超大型の倒産劇が繰り広げられ、複合大不況の幕開けが切って落とされた感がする。預金者保護のコンセンサスは出来ているから取り付け騒ぎは起きていないが、潰れるところは潰れ大掃除が進んでいく。2~3年後には少し視界が開けてくることを期待し、ここはしばらく辛抱我慢で行くよりないだろう。金融システムもさることながら、我々の商売に直接間接を問わず影響の大きいゼネコンの信用不安が来年から具体的に表れて来ることは必至である。建築・土木工事のボリュームと価格の縮みが業界の企業業績を大幅に悪化させている上に、不良債権を抱えては大変なことになる。当分枕を高くして寝られない日々が続く。

話は変わるが、冬らしくない暖かい日が多く、今年エルニーニョ現象もあって暖冬だと聞く。おりしも京都で地球温暖化防止京都会議が今日から始まった。CO₂やメタン、亜酸化窒素等のガスの排出削減目標を定めることが目的で開かれる。地球の汚染化や温暖化は加速度を加え進んでいるのであろう。先日テレビで生物が環境ホルモンの影響を受け、雌が雄化し雄は生殖能力が低下していることがバイ貝の研究で報道されていたが、人間社会が埒外とはとても考えられない。ただ気が付かないだけで気が付いたとき、即ち形で見えた時ではもはや遅いのである。地球上に恐竜時代が何千年かあってそれが絶滅したことが、我々人類に訪れてもおかしくない。そんなことを考えさせられることが確かに増えてきている。

もうひとつ。この頃不愉快になるはやりの現象。携帯テレフォンである。親から小遣いをもらっている学生が持っている。これを持たないと仲間に入れられない。あとあとの使用料金で稼ぐから、タダ同然で持たせる電話会社の営業戦略が拍車をかけたのである。このあおりでハンバーガーが売れなくなっても、いっこうに構わないが、ラブレターを書くこともないだろうから、書くことが苦手な大人が増えていくことは好ましいことではない。

いつの頃からか情報化社会と言われるようになった。パソコンの普及、通信網の発達、それを基盤としたニュービジネスの誕生。インターネット、イントラネット、片仮名の氾濫である。確かに早く便利になったことも数多くある。地球が狭くなり居ながらにして世界の隅々の情報が映像になって入ってくる。グローバル化も当然の流れだと理解できる。今これらのジャンルで最も進んでいるのは米国である。米国はこの分野でハード・ソフト両面とも他の国々より抜きん出ている。日本は戦後アメリカの背中を見ながら後をついて歩んできた。弱電、自動車など物づくりの面で日本はアメリカを追い越したが、情報産業分野で今アメリカは日本を大きく引き離して進んでいる。そして日本は今、これに追いつこうとして一生懸命であるが、情報産業に注力のあまり、日本が得意としている物づくり産業がおろそかになったりしないか心配である。ホワイトカラーばかり増えて物づくりに励むブルーカラーが軽んぜられることになってはいけない。輸入した方が安いからといって、物づくりすることを放棄してその技を忘れたり失ったりしては大変なことになる。

農業においてもこのことは言える。幸いにして私達の国は自然に恵まれ、その恩恵を十分に享受出来るところに住んでいる。アメリカに追随するばかりの日本から、脱皮しなければならぬ。アメリカの子供は携帯テレフォンを持っているだろうか。その他の国はどうなんだろうか。日本だけと違うか。知っている方に教えていただきたいと思っている。

おわりに、この一年大変お世話になりましたことに対し、心より厚く御礼申し上げます。なお新年も厳しい明け暮れになると思われませんが、何卒よろしくご指導ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

☆ 1 2 月の魁基準建値は 2 8 3 円 / kg です。

11月の電気銅建値は1～24日290円25～30日280円で、平均銅価は287円77銭でした。12月の電気銅建値は280円で始まりましたので12月の魁基準建値は $(287.77 + 280) \div 2 = 283$ 円88銭となり円未満切り捨て283円となります。従って価格帯は250円超～300円以下の欄で前月と同じです。